

# 高崎山 メンバーズ クラブ会報

2010.7

No.59

Takasakiyama  
MEMBER'S CLUB  
kaihou



会員No.65  
横浜市 野尻 忠孝



# 出産記録の取り方

高崎山の5月～8月は、赤ちゃんザルが産まれる時期でいわばベビーラッシュです。

私達係員は、その産まれてくる赤ちゃんザルを確認し戸籍に追加して管理しています。確認の方法は、エサの時にサル達が集まってきたら、

- ①赤ちゃんザルにへその緒が付いている。
- ②赤ちゃんザルの顔が赤い。
- ③赤ちゃんザルの毛が濡れている。

等を基準に生まれたばかりの赤ちゃんザルを捜します。

発見すると、まず写真撮影しノートに記録します。その後パソコンの戸籍に登録します。出産直後の母ザルは、警戒心がとても強く逃げ回るため確認作業はとても困難です。しかし貴重なデータとなるため、毎日確認する必要があるのです。

ノートに  
書き込む



## 中国中央電視台(CCTV)

### の撮影がありました!

昨年9月にC群からB群へ移籍した「ナベ」推定27才(人間の年令で80才過ぎ)ですが、なんと中国の「**走進科学**」という番組に取り上げられました。

ちなみに走進科学は中国での視聴率が**50%を超えている人気番組**とのことです。

タイトルは「**失踪的猴明星**」です。C群第3位という地位を捨て、彼女を探すため群れを移籍した「ナベ」。まさに老いらくの恋です。

「ナベ」といえば、日本の映画「**釣りバカ日誌19**」にて**銀幕デビュー**を果たしたことは記憶に新しいところです。

いよいよ彼も中国デビューですが、6月1日からサル寄せ場に姿を見せなくなりました。本当に失踪したのでしょうか?心配です。

放送はインターネット

<http://seach.cntv.cn/aibugu/index.shtm?qttext=失踪的猴明星>

で視聴可能です。





## 「ゴルゴ」のその後

昨年、平成21年11月26日以降順位が降格したゴルゴですが、最近更に体力も落ちてきて影の薄い存在になっていました。

そんなゴルゴに更なる災難が降りかかりました。5月のゴールデンウィークのあと、B群婦人会長の「オレケイ」に2回咬まれたのです。

メスザルがオスザルに咬みつく行為は非常に珍しく、私たちもとても驚きました。その後、ゴルゴはオレケイが近づくとビクビクと怯えながら距離をおくようになりました。「これは！」と思い、ゴルゴとオレケイで順位確認のためのピーナッツテストをしてみると、オレケイが当たり前のようにピーナッツを取ってしまいました。

そこで、「ゴルゴは更に順位が落ちているのでは・・・」と思い、第3位のバロンとゴルゴでピーナッツテストを試みましたが、礼儀の正しいバロンはピーナッツを取りませんでした。そして、ゴルゴに自ら尻を向けてマウンティングを催促しました。

体力では遥かに勝っているバロンですが、上位のオスに気を使うこの潔さがすごく気持ちよく見えた瞬間でした。

そんな肩身の狭い生活をしていたゴルゴですが、5月31日を最後にサル寄せ場に現れなくなりました。山の中で何度か見かけたという目撃情報はあるものの、B群から離脱しているのは事実でありゴルゴ本人が「死」というものを意識したかのような行動にも思えます。

高崎山の人気キャラクターであったゴルゴがいなくなったことはスタッフにとってとてもさびしいものです。





# サル物語

SARU MONOGATARI

## サヤカ



サヤカは高崎山の人気サルです。テレビなどでたくさん紹介されてからというもの毎日のようにお客様がサヤカに面会に来られます。

これまで3回の出産と子育て(第1子は亡くなりましたが)を経験しているサヤカですが、今年も少しお腹が大きくなっています。妊娠しているかははっきり解りませんが、今度出産するのであれば女の子がいいな・・・と私達スタッフは思っています。

男の子は大人になるころ母ザルのもとを離れて群れを出ていくので男の子ばかり生んでいるサヤカの元にはコザルが残らないのです。現に、上の子のゲンキは3才で群れを出て行きました。

母ザルだけで行う子育ては、サヤカにとってとても大変なことです。元気な赤ちゃんザルを産んでくれることを願っています。

## 気性の荒い メスザルたち

C群に「ウワメ」というサルがいます。常にC群の第3位「ゾロメ」のそばにいて毛づくろいなどを行っています。ゾロメのそばにいたので群れの中心部(寄せ場の柵の中)で生活をしていることが多いサルです。性格的には、かなり気が強くガイドをして

いる係員を一睨みしていきます。ひどい時は威嚇をしてきて家族総出で係員を脅します。威嚇してくる時は必ずとっていいほど上目遣いなのでウワメという名前がつけました。

この様に上位のオスザルのそばにいるメスザルたちはなぜか気が強いようです。第1位「ソロ」のそばにいる「ネピア」や、第5位「オウジ」のそばにいる「マンボ」などは代表的なサルです。間違いなく気の強いメスザルランキングを作ったらウワメ・ネピア・マンボはTOP3です。

後ろ盾があると性格が激しくなるのでしょうか？高崎山のメスザルは強いのです。



大分市内の小学生・中学生は入園料無料です。名札か生徒手帳を見せて入園して下さい。

ご意見・ご要望をおまちしています



国立公園

高崎山自然動物園

〒870-0802 大分市神崎3098-1

Tel.097-532-5010 Fax.097-536-2500

<http://www.takasakiyama.jp/>

[info@takasakiyama.jp](mailto:info@takasakiyama.jp)



この印刷製品は環境に配慮した  
資材と工場で製造されています